

第2回 千葉県後期高齢者医療広域連合議会 定例会が行われました

平成21年度一般・特別会計歳入歳出決算の認定と 平成22年度一般・特別会計補正予算を可決

11月18日に、平成22年第2回千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会を開催しました。定例会では、「平成21年度一般・特別会計歳入歳出決算の認定」、「平成22年度一般・特別会計補正予算」が審議され、すべて原案のとおり認定・可決されました。

また、一般質問には5人が登壇し、後期高齢者医療制度と広域連合の行政について広範囲の質問が行われたほか、請願3件を不採択と決しました。



審議の様子

第2回定例会の議案と 議決結果

■ 議案第1号 平成21年度一般会計歳入歳出決算の認定について **【認定】**

■ 議案第2号 平成21年度特別会計歳入歳出決算の認定について **【認定】**

■ 議案第3号 平成22年度一般会計補正予算(第1号) **【原案可決】**

■ 議案第4号 平成22年度特別会計補正予算(第1号) **【原案可決】**

■ 請願第1号~3号 すべての高齢者の受療権を守るため正規の被保険者証を交付するよう求める請願書 **【不採択】**

※議案名中の「千葉県後期高齢者医療広域連合」は省略

一般質問(広域連合行政全般にわたる質問)の一部を掲載します

質問 事務所移転について

事務所の移転先として協議を進めている新国保会館は、11月末に竣工予定であり、賃料(共益費)等は現状より大幅に軽減される見込と聞いております。

◎ 答弁をする藤代広域連合会長



また、移転の時期は3月上旬を目途としておりますが、移転に際しましては、各市町村の広報紙に掲載を依頼するとともに、「ちば広域連合だより」第10号を、被保険者個々に送付し、周知を図りたいと考えております。

質問 高齢者のための新たな医療制度について (現在の制度との変化や国保の運営とあり方について)

国の説明によれば、新制度の方向性としては、後期高齢者医療制度の問題点を改めるとともに、利点は残し、更に後期高齢者医療制度の廃止を契機として段階的に国保の広域化を実現することとしております。

また、国保の運営と今後のあり方については、まず高齢者医療に関し都道府県単位の財政運営とすること、現役世代についても環境整備を進めた上で都道府県単位の財政運営とすること等について、検討していると承知しております。

当広域連合としては、今後とも全国後期高齢者医療広域連合協議会を通じて、広く国民が納得して、分かりやすい制度になるよう要望してまいります。

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員名簿(議員定数54名)

(平成22年11月18日現在)

市町村名	旭市	我孫子市	いすみ市	市川市	一宮町	市原市	印西市	浦安市	大網白里町	大多喜町	御宿町	柏市	勝浦市	香取市	鎌ヶ谷市	鴨川市	木更津市	君津市	鋸南町	神崎町	栄町	佐倉市	山武市	酒々井町	芝山町	白子町	白子町	匝瑳市	白井市	多古町	袖ヶ浦市	館山市	千葉市	銚子市	長生村	長南町	東金市	東庄町	富里市	長柄町	流山市	習志野市	成田市	野田市	富津市	船橋市	松戸市	南房総市	睦沢町	茂原市	八街市	八千代市	横芝光町	四街道市
議員名	向後悦世	坂巻宗男	杉山敏行	宮田かつみ	秋場博敏	宇田川昭男	金丸和史	岡本善徳	江沢清	野中真弓	新井明	山田一	板橋甫	宇野功	小泉巖	尾形喜啓	荻野一男	加藤健吉	鈴木郁男	鈴木伸四郎	寶田久元	高萩初枝	工藤啓子	穴倉弘康	森本一美	川口幸雄	三橋吉辰	谷嶋稔	谷嶋稔	小野光正	土井清司	本橋亮一	茂手木直忠	宮内昭三	関克也	岩崎重良	松戸進	勝野暢一	江原利勝	吉原成	伊藤春樹	浅川邦雄	伊藤春樹	中村利久	福原敏夫	高木明	大川一利	青木正孝	中村健一	常泉健一	古川宏史	小林恵美子	川島富子	野村裕

お問い合わせ
千葉県後期高齢者医療広域連合

午前9時~午後5時(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
●本紙について、広域連合の運営、議会について 総務課 ☎043-223-0075
●保険料、被保険者の資格について 資格保険料課 ☎043-308-6768
●保険給付、保健事業について 給付管理課 ☎043-223-1262